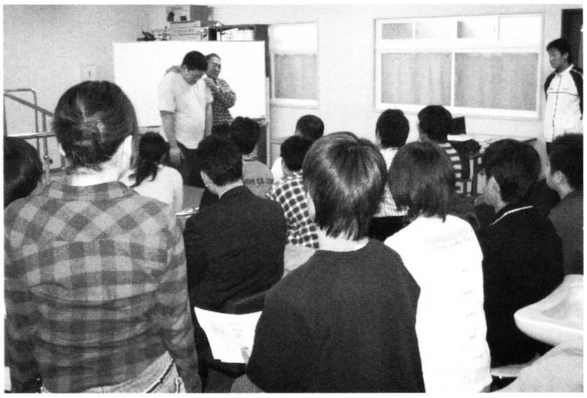
リハビリテーション科 この1年

ＰＴ 坂本　雅則　・　ＯＴ 内田　喜大

名寄市内のリハビリスタッフは，ここ数年で急激な増加を示しています．５年前まではPT・OT合わして８名しかいなく，幅広く仕事が求められました．現在，名寄市内にはPT15名，OT６名，ST４名と３倍に増加し，施設ごとにリハビリ機能が明確となりました．当科の機能としては，医療を重視したセラピーが求められています．またPTスタッフの中でも肩関節，筋筋膜アプローチ，中枢神経系，介護予防関係など各々の専門性にも別れつつあります．この名寄地域においてリハビリスタッフが増加していく中で，自分の価値観を見い出して生き残っていくためには，各々の専門性を伸ばしていくことは重要だと考えています．スタッフには更なる専門性の追求を期待しています．

この地域で10年前より月１回，PT・OT・ST合同勉強会を開催しています．合同の勉強会なので他職種の見聞を広めたり，相談したり，或いは専門性を提供する事もあります．最近では士別地域からも多く参加されるようになり，勉強会後の意見交換が施設間での直接的な連携に繋がっています．更に，お互いに親しみを持てたということも仕事上コミュニケイトできたように感じています．また同期生も各施設に配属され始めていることも，施設間の連携にメリットとなっています．この1年で参加者増に伴い勉強会システムを変更でき，更に有意義な勉強会となるように当科として協力していきたい．



名寄士別地区PT・OT・ST勉強会

作業療法部門のスタッフは作業療法士２名，助手２名と変わりはありません．

2005年４月より行事はOTが中心となって行う事になり，バスレク（旭山動物園）を３年ぶりに行いました．

また「買物」グループを新設しました．いままで閉鎖病棟で買物注文をしていたメンバーを中心に行っています．実際に院内の売店や院外のデパートに歩いていき，買いたい商品を自分の目で確認し（品質，値段，消費期限など），自分でお金を支払います．小遣い帳をつける事による金銭管理や，公共のマナーを覚えたり，店員や他の客との関わりを学習するのに効果をあげています．

2005年７月より精神科医師１名体制になりました．その為入院患者さんが徐々に退院，転院していき，OTメンバーが減少しました．

良い点としては上記の「買物」，「個人OT」などの個別に対応がしやすくなったことです．

悪い点としては「ソフトボール」，「ミニバレー」など団体での種目がチームを作れなくなった事と，診療点数が減った事です．

診療点数確保の為，今まで体育館で行っていたクリスマス会を病棟で行いました．その結果入院患者の約8割が参加されました．

2006年１月より１病棟になりました．今後行事などは他のスタッフと協力し，病棟ホールで行いたいと思います．理由は移動が困難なメンバーも参加しやすく，体育館まで行かなくても気軽に参加できるからです．またビデオ上映会も回数を増やし病棟ホールで行いたいと考えています．